

石工科

石工科では
生徒さんたちが
ノミと石頭で
石を研る音が
鳴り響いていた

時間がないときは
エアコンプレッサー
の道具も
使うけどね

講師
出口秀樹先生

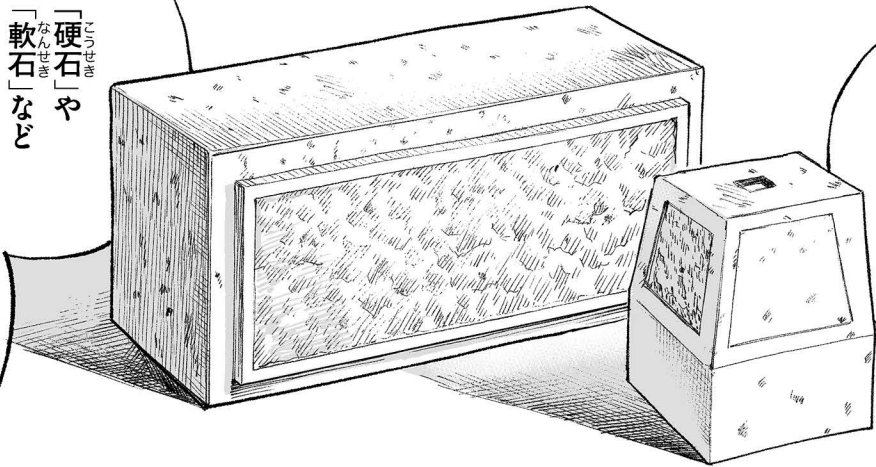
この職大は
昔から伝わる
手仕事を教える
学校なので

自然の石を
手道具で形作っていく
基本的な動作に
ついて教えています

たとえば授業では
こういった東石や
石段などを
つくったりします

「硬石」や
「軟石」など

それぞれ
石の性質によって
道具の使い方が
少し変わってきます



硬石の場合

荒取り用

これでパンツと
はらった跡を
ノミで研っていく

石頭

コヤスケ

ビシャン

表面の
大きなデコボコを
叩いてつぶし
面をならす

刃ビシャン

ビシャンだと崩れて
しまいそうな角や
小さな範囲を部分的に
ならすときに使う

タタキ

角出しや
小叩き仕上げなどに
使われる
細やかな加工道具



軟石の場合



ツルメ

筋をつくるように石を削っていく

チョンナ

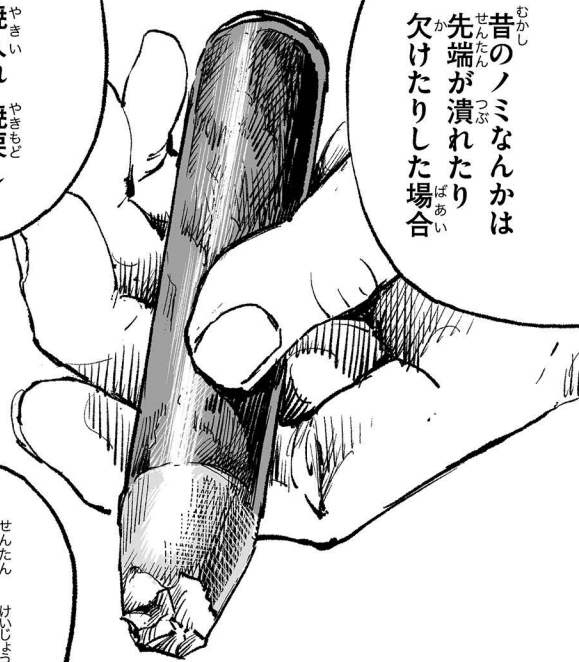


やわらかい軟石の面をシユツシユツと削り落としていく
差し刃の脱着式

昔のノミなんかは先端が潰れたり欠けたりした場合

焼入れ・焼戻しというメンテナンステナンス作業をして

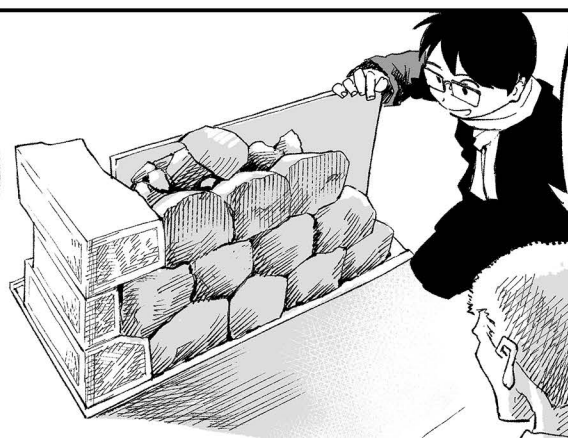
先端の形状や硬さを調節し使い続けます



焼入れ

急冷

おおこれは石垣でしょうか？



ああ大きく言えば石垣とも言えるかもしれないけど

我々石工は間知石積と呼んでいます



ながまち
長町などの
かわ
川や用水の脇に
みられる工法です
こうほう

間知石積

矢締めをして
岩を大割
小割して
いきます



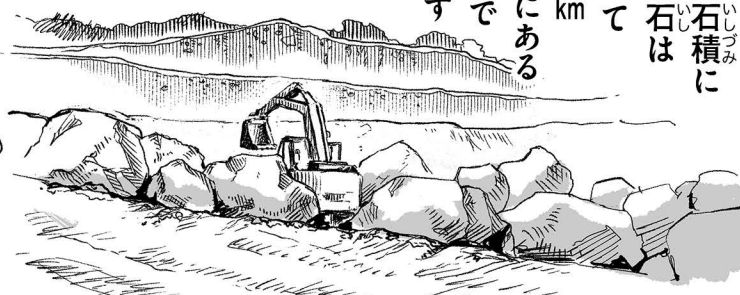
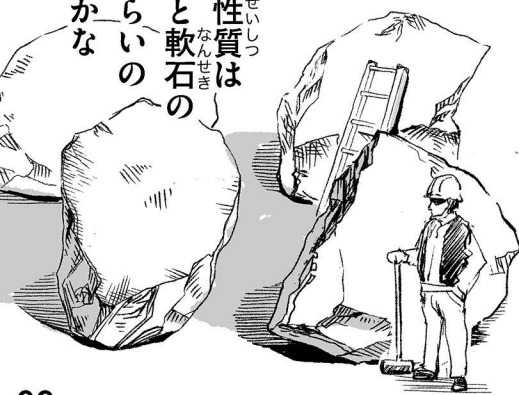
荒削り
面作りをして
間知石の上下と
形を整えて



あいばあ
合端合わせを
して積んで
いきます

ちなみにこの石積に
使われている石は
戸室石と言って
金沢の東に8 km
行ったところにある
戸室山の山麓で
とれる岩石です

いし
石の性質は
硬石と軟石の
間くらい
硬さかな



その戸室石を
積んで造られた
巨大建造物が
金沢城の石垣です

石の表面が
ザラザラしていて
おもしろい
でしょう？

この石垣は
切り込み接ぎといって
加工して隙間なく
積んでいく手法です

さすがに大きすぎて
授業では
やらんけど

こういうのも職人が
ひとつひとつ
ノミで細かく削って
平らにしつつ
表情をつくって
るんですよ

石屋やって
15年ですけど
いずれは金沢城の
二の丸御殿復元とかに
携われる人材に
なれたらと思いますね

生徒さん

ノミで研るって
いうのは
仕事だと
ほとんど無いなあ

こういう
技術を
知っておけば
仕事の幅も
広がるし

ここを
卒業したら
重要文化財とかにも
関わりたいね

エテコジバザの
ノミを使用中

授業の終わりに際
先生に日頃の
心構えを
伺った

ふだんどお
普段通りが
一番よ

いざつてとき
ふだんどお
普段通りにやって
良いものが
作れるように

ふだん
普段から
誤魔化さずに
高い意識でいるのが
一番いい



職大は
高い技能を持った
職人さんたちが
より高いレベルに
いくための学校だ

日も
とっぷりと暮れたな...

平日に
自分の仕事がお
わったあとに
技術を学びに来る



まあ
その高さの基準が
人それぞれだから
難しいんだけどね



ここに
来ている時点で
もうすでに

高い意識で
自分たちの仕事に
向き合っている
人達なのだと
僕は思った

金沢職人ばなし（瓦科・石工科・造園科）

2025年6月10日発行

漫画家 坂上暁仁

発 行 公益社団法人 金沢職人大学校

〒920-0046 石川県金沢市大和町 1 番 1 号

Tel 076-265-8311 Fax 076-225-8314

Webサイト <https://www.k-syokudai.jp/>

©金沢職人大学校2025 <禁無断複製>